

空知シンポジウム 2009

「日本とウェールズにおける炭鉱の記憶：地域再生へのアーカイブズと社会教育の役割」

2009年8月7日(金)

会場：アルテピアッツァ美唄

2009年8月8日(土)

会場：岩見沢コミュニティプラザ

解題

「産炭地研究の新たな課題—立坑櫓が巻き終わったあとに—」

中澤 秀雄 (中央大学, 元札幌学院大学)

報告

「常磐炭砦の地域的特性とその吸収力：産炭地比較研究にむけての整理」

鳴崎 尚子 (早稲田大学)

「元炭鉱労働者の追跡研究における方法的課題」

澤口 恵一 (大正大学)

「端島炭鉱「軍艦島」の生活」

井上 博登 (早稲田大学大学院博士後期課程)

「三池炭鉱における社宅コミュニティ」

西牟田真希 (関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程)

「「軍艦島」をめぐるヘリテージ・ツーリズムの現状と課題」

木村 至聖 (日本学術振興会特別研究員 PD (京都大学))